

大阪成蹊大学 教育学部 2018年3月卒業生「卒業研究発表会」発表者一覧

| 発表テーマ | 発表者 |
|---------------------------------------|--------|
| 海外旅行がもたらす意味と「生きる力」を育む教育活動の考察 | 田中 茜寧 |
| オーストラリアと日本の学校教育の比較 | 小東 慶一郎 |
| 道徳教育において自薦感情はなぜ求められるか | 石田 直央樹 |
| 小学校における伝承遊びと学習指導要領との関連性について | 長野 亜希 |
| 小学校社会科における体験的学習活動を生かした授業構築について | 白井 僚太郎 |
| ストリートダンスが子どもに与える影響 | 中井 星斗 |
| 「社会的事象の見方・考え方」を働かせる社会科授業の開発 | 上久 紗和 |
| ゆるキャラの教材としての可能性 | 吉岡 大皓 |
| 理科教育におけるユニバーサルデザインの調査と提案 | 安田 梨沙 |
| 鉛筆を使った電子回路の定着を図る教材研究 | 瀬戸 勇輝 |
| 子どもだけでなく教員が活用したくなる教材の開発 | 安井 優太 |
| 離島における若者の進路選択 | 島 愛美 |
| 「女子高校」の生徒確保戦略 | 竹本 彩花 |
| 小中移行期における「ギャップ」をめぐる経験 | 常見 達也 |
| 教員養成課程に所属する学生のジェンダー意識 | 福井 里菜 |
| 教員の労働をめぐる言説分析 | 浜田 圭太 |
| インクルーシブ教育システム構築事業の現状と課題 | 原田 実璃 |
| 留学生別科の実態と課題 | 豊福 裕太郎 |
| マスメディアは少年犯罪をいかに報道するのか | 水嶋 竜哉 |
| 算数科における文章題の意味を理解させるための工夫 | 大島 一輝 |
| 教材教具の工夫 | 桂 仁 |
| 算額を題材とした小学校算数科における授業づくり | 釜谷 章太 |
| 生活場面を生かした導入の工夫 | 西橋 舞佳 |
| 小学校現場におけるスマートフォンを活用した授業展開の提案 | 中尾 岬 |
| 小学校でのプログラミング教育普及に向けての教材開発 | 井上 真凜 |
| 小学校でのプログラミング教育普及に向けての教材開発 | 西村 知夏 |
| 小学校教育課程における体験的な和楽器の指導について | 足川 美咲 |
| 算数科における発達段階を見通した言語活動の在り方について | 上見 ひより |
| 東井義雄の評価論についての一考察 | 松本 直葵 |
| 小学校教育課程において求められるいのちの教育について | 村田 その |
| 求められる道徳教育における評価 | 石戸 遥香 |
| 子どもの意欲を高める教師の支援 | 衣川 ひとみ |
| 対話的な学びを生み出す授業 | 牧野 智之 |
| 居場所のある学級づくりを目指した教師の支援 | 山口 未来 |
| 幼児教育の現場で使えるではなく、使いたいと思える科学教材の開発 | 笠原 颯斗 |
| 雲を実感できる授業づくり | 中橋 雅広 |
| 幼児期における科学あそびと教材の再現 | 村田 恵望 |
| 見えないものを見えるようにする実験器材の開発 | 山口 拓也 |
| 図画工作科におけるプロジェクトを用いた映像と身体を組み合わせる表現について | 高岡 周平 |
| 「図画工作科におけるICT機器を使用した授業」 | 三宅 貴士 |
| 保育室における壁面装飾の有効活用への一考察 | 門田 彩花 |
| 保育現場における絵本の意義 | 佐藤 絵理 |
| 自然環境を積極的に活かした自由遊びの重要性について | 深町 亮太 |
| ユニバーサルデザインの視点を活かした幼少連携について | 吉弘 勇希 |
| 子どもに愛され続ける絵本の魅力に関する研究 | 川内 春菜 |
| 赤ちゃんポストの実態と親支援に関する研究 | 窪田 一葉 |
| マリア・モンテッソーリの教育玩具から学ぶ日本の幼児教育 | 関 彩萌 |
| わらべうた遊びの魅力に関する研究 | 田北 綾子 |
| 倉橋惣三の教育思想が現代の幼児教育に与える影響 | 中嶋 潤 |
| メディアの教育的意図と子どもに与える影響 | 浜田 佳穂 |
| 昔も今も歌い継がれる童謡とわらべ歌の魅力に関する研究 | 山根 萌 |
| 5歳児が食に親しむ保育に関する研究 | 大和 悦子 |
| 小学校で起きるいじめについて | 田上 颯斗 |
| 日本の子ども虐待に求められる今日的な支援・取り組みについて | 辻 正義 |
| 子ども理解の方法としてのエピソード記述 | 菅原 由依 |
| 保育における絵カードの活用法 | 大塚 菜々 |

| | |
|---|--------|
| ボランティア団体による子どもの野外体験活動の意義 | 青木 美帆 |
| 数量・図形への関心を育む保育とは | 松浦 紗耶乃 |
| 幼児期における道徳教育についての考察 | 松永 梨々花 |
| 幼児期における外遊びの意義 | 宮崎 あかね |
| ディズニープリンセス映画に描かれる子ども像の変化 | 榎山 友里 |
| イエナ・プランにおける異年齢での学びの在り方 | 久保 芳行 |
| 幼稚園・小学校教諭と教員養成課程学生の子ども観と関わり方 | 澤池 夢理 |
| しつけの要素を含む絵本が子どもを惹きつける理由 | 成田 莉里羽 |
| 子どもが利用する公園に着目 | 西本 周平 |
| フランスの保育学校 | 山本 千紗 |
| 幼児期における英語教育の現状と課題 | 植村 文 |
| 韓国の少子化・子育ての現状、または対策法とは | 奥江 眞帆 |
| お金についての教育 | 西村 萌 |
| 幼児の記憶の特性が保育にもたらす影響 | 平田 敬音 |
| 子どもの『共創的リーダーシップ』を育てる教員の体験知 | 秋山 祐梨子 |
| 次期学習指導要領に準拠した総合的な学習ガイドブックの作成 | 間部 浩貴 |
| 小学校低学年におけるドッジボールの安全基準の明確化 | 泉 孝輝 |
| 道徳性の諸様相を高めるアクション創作劇の教育的意義 | 武内 晃司 |
| 雑談×伝え方のコツ 子どもたちの人間関係を豊かにする、質のある雑談指導 | 崎田 祐一朗 |
| 小学校教育における『ウィークリー授業選択方式』による個別担任制への試案 | 橋本 みく |
| 「学力低下」と「情報化社会」の関連 | 松井 みか |
| プレップ制度を日本の就学前教育に導入することによる小1プロブレム解消へのアプローチ | 勝目 みのり |
| 小学生の体力・運動能力と骨密度の関係について | 大串 彩夏 |
| 児童における体力と生活習慣の関係について | 庄司 智裕 |
| 児童の体力・運動能力と浮き趾の関係 | 瀬戸口 琢郎 |
| 体育が好きな子どもたちに | 原 萌華 |
| 小学生の骨密度と生活習慣との関連について | 飯島 憲太郎 |
| 体力と食習慣の関係からのアプローチ | 栗本 佳奈 |
| 幼稚園内における怪我の特性 | 小崎 遼介 |
| 幼児の体力・運動能力と接地足跡との関係について | 古林 亮児 |
| 幼児が飼育動物の死と出会うことの意味と保育者の援助 | 岩本 菜摘 |
| 箱庭に表現された感情についての制作者と第三者の認識の比較 | 上田 実咲 |
| テレビキャラクターの実在性についての子どもの認識 | 岡本 萌音 |
| 幼児期における女児の三者間コミュニケーションの検討 | 花岡 里紗 |
| 国語科における言語活動の実践研究 | 杉木 徹 |
| 国語科における対話的学びを深める学習について | 世佐木 真実 |
| 民話における残酷性の教育的価値 | 大澤 悠貴 |
| ごんぎつね作品研究 “人間と動物(きつね)の組み合わせ” | 野原 遥 |
| 幼児絵本の人物像の魅力を生かした読み聞かせ技法の開発 | 石坂 真優 |
| 人物像を視点とした読書活動の導入方法 | 小林 未弥 |
| あまんきみこ(車のいろは空のいろ)作品研究 | 堀 遥香 |
| 棕 鳩十作品の新たな教材化の視点 | 北原 駿汰 |
| 児童養護施設における宿泊行事の意味 | 大西 美里 |
| 幼稚園での動物介在教育においての保育者の役割 | 岡本 彩 |
| 運動会をする意味 | 高松 梨香 |
| 保育所での自由遊びにおける異年齢児の関わり | 濱田 雄貴 |
| 自然体験学習が子どもに与える影響 | 櫻井 花菜 |
| 父母の離婚を体験した子どもへの関わり | 鈴木 千暖 |
| 幼稚園・保育所の宿泊行事をする意義 | 細見 愛莉 |
| 乳幼児と養育者のコミュニケーションと音楽の関係 | 小谷 茉優 |
| 保育へのリトミック導入時の効果的な援助 | 寺田 理沙 |
| 小学校での音楽活動を取り入れた学級づくりの可能性 | 中山 桃花 |